



平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月18日
上場取引所 東

上場会社名 相模ゴム工業株式会社
 コード番号 5194 URL <http://www.sagami-gomu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大跡 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部本部長兼経営計画室 室長 (氏名) 吉田 邦夫
 定時株主総会開催予定日 平成24年6月27日 配当支払開始予定日 平成24年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 平成24年6月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

TEL 046-221-2311

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期の連結業績(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期	3,827	△11.9	67	△82.0	74	△73.2	78	△47.9
23年3月期	4,343	△3.8	374	△22.1	276	△45.5	149	△53.5

(注) 包括利益 24年3月期 5百万円 (△97.0%) 23年3月期 170百万円 (△55.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
24年3月期	7.18	—	3.2	1.3	1.8
23年3月期	13.77	—	6.0	4.4	8.6

(参考) 持分法投資損益 24年3月期 一百万円 23年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期	5,970	2,577	40.4	221.84
23年3月期	5,781	2,680	43.4	230.91

(参考) 自己資本 24年3月期 2,412百万円 23年3月期 2,511百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
24年3月期	282	△68	120	809
23年3月期	704	△45	△1,138	496

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
23年3月期	—	—	—	10.00	10.00	108	72.6	4.4
24年3月期	—	—	—	10.00	10.00	108	139.3	4.4
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00		83.7	

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,985	0.9	90	667.0	100	50.4	65	3,628.8	5.98
通期	3,970	3.7	180	167.6	200	169.4	130	66.4	11.95

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期	10,937,449 株	23年3月期	10,937,449 株
② 期末自己株式数	24年3月期	60,857 株	23年3月期	59,816 株
③ 期中平均株式数	24年3月期	10,877,073 株	23年3月期	10,879,738 株

(参考) 個別業績の概要

平成24年3月期の個別業績(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期	3,711	△11.3	△30	—	△20	—	40	△44.2
23年3月期	4,183	△2.9	196	△48.1	190	△45.8	72	△59.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期	3.71	—
23年3月期	6.65	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
24年3月期	7,864	4,528	4,528	57.6	416.33			
23年3月期	7,661	4,573	4,573	59.7	420.49			

(参考) 自己資本 24年3月期 4,528百万円 23年3月期 4,573百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、財務諸表に対する監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績(1) 経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 経営方針	4
(1) 会社の経営の基本方針	4
(2) 目標とする経営指標	4
(3) 中長期的な会社の経営戦略	4
(4) 会社の対処すべき課題	4
3. 連結財務諸表	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 継続企業の前提に関する注記	12
(6) 追加情報	12
(7) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
(開示の省略)	15
4. その他	16

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

当連結会計年度のわが国経済は、東日本大震災の影響により厳しい環境下にある中、緩やかな持ち直しの動きが見られるものの、タイの大洪水による一部の企業の生産活動の停滞や欧州の政府債務問題の再燃、また円高の長期化などにより、依然として厳しい状況のうちに推移いたしました。

このような厳しい環境のもと、当社グループはグローバルな効率的運営を図りつつ、ナショナルブランド・サガミオリジナルの販売強化や営業基盤の拡充、他社にない付加価値新商品の開発等を進め、グループ全体としての収益の確保に邁進してまいりました。

その結果、当連結会計年度において、売上高は38億27百万円（前年同期比11.9%減）、営業利益は67百万円（前年同期比82.0%減）、経常利益は74百万円（前年同期比73.2%減）、当期純利益は78百万円（前年同期比47.9%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ヘルスケア事業

ヘルスケア事業の国内は、沈滞ムードからの消費自制により、活発な広告活動が行なえないなか、新キャッチコピー「人生が変わる！」サガミオリジナル0.02（ゼロゼロツー）の安定かつ継続的なユーザーを確保するため、大箱商品群を上市いたしました。

輸出においては、新興国をはじめとする諸外国の消費水準の向上による潮流を捉え、さまざまな国への拡販に努めてまいりましたが、高付加価値商品の主要マーケットであるヨーロッパ諸国の経済の停滞や円高の継続による影響を受けました。

事業全体として、売上高は22億82百万円（前年同期比16.3%減）、営業利益は3億21百万円（前年同期比44.2%減）となりました。

②プラスチック製品事業

プラスチック製品事業は、震災直後のサプライチェーンの混乱による過剰な流通在庫から、年度後半は市場も落ち着きを取り戻しました。

生産活動の効率化やコスト削減に努めるとともに、特殊品の販売、新商品の開発等に注力しましたが、原料価格の高騰により収益が圧迫され、その結果、売上高は12億81百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益は36百万円（前年同期比56.7%減）となりました。

③その他

その他の事業は、介護知識の共有化や資格取得の奨励等によるスキルアップを図り、地域に密着し、安心・安全を確保した信頼される入浴サービスやケアサービス等の提供を実施し、顧客満足度の向上に努めてまいりました。

その結果、売上高は2億63百万円（前年同期比10.0%減）、営業損失は13百万円（前年同期は営業損失6百万円）となりました。

今後の見通しにつきましては、当社グループを取り巻く環境は欧州政府債務危機や原油価格の上昇などを背景とした景気の下振れ、為替・株価の変動、デフレの影響等業績を下押しするリスクが内在しており、予断を許さない状況が続くと予想されます。

当社グループは優先順位を明確にした経営資源の適切な分配や効率的な運用、新規販売チャネルの開拓や海外販路の深耕と伸長に努め、堅実な収益の確保を図ります。

また、技術力の一層の向上と次世代を見据えた設備強化を検討するとともに引き続きのコストダウンや調達コストの低減を継続し、さらなる経営体質の強化に努めます。

これらの活動により、通期の連結業績予想につきましては、売上高39億70百万円、営業利益1億80百万円、経常利益2億円、当期純利益1億30百万円を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

① 資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

当連結会計年度末における資産の残高は59億70百万円となり、前連結会計年度末と比較し1億89百万円増加しました。

現金及び預金が3億13百万円増加し、固定資産が1億82百万円減少しました。

(ロ) 負債

当連結会計年度末における負債の残高は33億93百万円となり、前連結会計年度末と比較し2億93百万円増加しました。

支払手形及び買掛金が95百万円、長・短期借入金が2億29百万円増加しました。

(ハ) 純資産

当連結会計年度末における純資産の残高は25億77百万円となり、前連結会計年度末と比較し1億3百万円減少しました。

その他有価証券評価差額金が22百万円増加し、利益剰余金が30百万円、為替換算調整勘定が90百万円減少しました。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前当期純損失が10百万円で、減価償却費を1億89百万円計上し、長・短期借入金が2億29百万円増加したこと等により前連結会計年度末に比べ3億13百万円（63.1%）増加し、当連結会計年度末には8億9百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度の営業活動により獲得した資金は、2億82百万円（59.9%減）となりました。

これは主に、減価償却費を1億89百万円計上し、たな卸資産が36百万円、仕入債務が1億38百万円増加したこと等によるものであります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度の投資活動により使用した資金は、68百万円（52.9%増）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が68百万円あったことによるものであります。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度の財務活動により獲得した資金は、1億20百万円（前年同期は11億38百万円の使用）となりました。

これは主に、長・短期借入金が2億29百万円増加し、配当金の支払が1億8百万円あったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期
自己資本比率 (%)	33.5	36.1	43.4	40.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	31.4	38.2	41.8	36.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (倍)	15.2	3.8	2.8	7.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	3.6	16.8	21.8	23.0

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式控除後）により計算しております。

※ 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の「営業活動によるキャッシュ・フロー」を使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の「利息の支払額」を使用しております。

(3)利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、世界的な視野で事業展開を繰り返し広げていく中で企業体質を強化し、財務内容の充実を図るとともに株主各位に対して安定的な配当の維持及び適正な利益還元を基本方針としております。従って、好業績時の利益配分は多少低めに設定させて頂く代わりに、損失を招いた決算期においては出来る限り、利益配分の維持に努めてまいります。

また、内部保留資金については、経営基盤・財務体質の強化、並びに、将来の事業展開に向けた投資に活用致します。

このような方針のもと、当期の配当につきましては、前期と同じく10円の配当を実施し、次期以降の配当についても、継続的に安定した配当を考えております。

2. 経営方針

(1)会社の経営の基本方針、(2)目標とする経営指標、(3)中長期的な会社の経営戦略、(4)会社の対処すべき課題

平成23年3月期決算短信（平成23年5月18日開示）により開示を行った内容から重要な変更がないため開示を省略します。

当該決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ホームページ)

<http://www.sagami-gomu.co.jp/corp/ir-kessan.html>

(東京証券取引所ホームページ（上場会社情報検索ページ）)

<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>

3. 連結財務諸表
 (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当連結会計年度 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	496,169	809,233
受取手形及び売掛金	1,430,273	1,444,798
たな卸資産	1,005,232	995,418
繰延税金資産	47,976	68,681
その他	23,184	64,479
貸倒引当金	△77,215	△84,992
流動資産合計	2,925,619	3,297,618
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,780,473	1,757,860
減価償却累計額	△1,197,919	△1,218,715
建物及び構築物（純額）	582,553	539,144
機械装置及び運搬具	4,051,672	3,741,935
減価償却累計額	△3,192,473	△3,066,764
機械装置及び運搬具（純額）	859,199	675,171
土地	944,550	939,379
その他	223,031	217,431
減価償却累計額	△204,865	△199,394
その他（純額）	18,166	18,037
有形固定資産合計	2,404,470	2,171,732
無形固定資産		
のれん	25,053	5,134
その他	2,594	1,832
無形固定資産合計	27,648	6,967
投資その他の資産		
投資有価証券	357,017	352,159
繰延税金資産	11,685	84,605
その他	57,114	61,769
貸倒引当金	△2,494	△4,571
投資その他の資産合計	423,323	493,962
固定資産合計	2,855,442	2,672,662
資産合計	5,781,062	5,970,281

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当連結会計年度 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	474,095	569,538
短期借入金	1,724,476	2,189,200
未払法人税等	20,522	5,005
賞与引当金	68,626	68,333
その他	238,878	234,258
流動負債合計	2,526,597	3,066,334
固定負債		
長期借入金	258,600	23,400
退職給付引当金	113,552	96,028
役員退職慰労引当金	192,616	196,636
資産除去債務	5,219	5,246
長期預り保証金	1,000	3,100
その他	2,500	2,500
固定負債合計	573,488	326,910
負債合計	3,100,085	3,393,244
純資産の部		
株主資本		
資本金	547,436	547,436
資本剰余金	681,385	681,385
利益剰余金	1,965,574	1,934,901
自己株式	△18,194	△18,403
株主資本合計	3,176,201	3,145,319
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69,407	92,270
為替換算調整勘定	△733,904	△824,704
その他の包括利益累計額合計	△664,497	△732,434
少数株主持分	169,272	164,151
純資産合計	2,680,976	2,577,036
負債純資産合計	5,781,062	5,970,281

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	4,343,845	3,827,109
売上原価	2,806,417	2,633,522
売上総利益	1,537,428	1,193,586
販売費及び一般管理費	1,162,753	1,126,321
営業利益	374,674	67,265
営業外収益		
受取利息	227	1,811
受取配当金	10,198	10,172
作業くず売却益	13,474	12,271
不動産賃貸料	3,060	3,228
その他	18,253	25,649
営業外収益合計	45,215	53,132
営業外費用		
支払利息	36,542	13,697
為替差損	106,291	31,974
その他	524	490
営業外費用合計	143,358	46,161
経常利益	276,531	74,235
特別利益		
固定資産売却益	137	153
貸倒引当金戻入額	9,429	—
特別利益合計	9,567	153
特別損失		
固定資産除売却損	4,493	1,801
固定資産廃棄損	2,500	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,422	—
投資有価証券評価損	—	38,245
特別退職金	—	44,951
特別損失合計	13,416	84,998
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	272,682	△10,608
法人税、住民税及び事業税	94,462	7,162
法人税等調整額	17,448	△103,134
法人税等合計	111,911	△95,972
少数株主損益調整前当期純利益	160,771	85,363
少数株主利益	10,959	7,260
当期純利益	149,812	78,103

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	160,771	85,363
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30,021	22,862
為替換算調整勘定	39,944	△103,181
その他の包括利益合計	9,923	△80,318
包括利益	170,694	5,045
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	163,807	10,166
少数株主に係る包括利益	6,887	△5,121

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	547,436	547,436
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	547,436	547,436
資本剰余金		
当期首残高	681,385	681,385
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	681,385	681,385
利益剰余金		
当期首残高	1,924,583	1,965,574
当期変動額		
剰余金の配当	△108,822	△108,776
当期純利益	149,812	78,103
当期変動額合計	40,990	△30,672
当期末残高	1,965,574	1,934,901
自己株式		
当期首残高	△17,170	△18,194
当期変動額		
自己株式の取得	△1,023	△208
当期変動額合計	△1,023	△208
当期末残高	△18,194	△18,403
株主資本合計		
当期首残高	3,136,234	3,176,201
当期変動額		
剰余金の配当	△108,822	△108,776
当期純利益	149,812	78,103
自己株式の取得	△1,023	△208
当期変動額合計	39,966	△30,881
当期末残高	3,176,201	3,145,319

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金		
当期首残高	99,429	69,407
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△30,021	22,862
当期変動額合計	△30,021	22,862
当期末残高	69,407	92,270
為替換算調整勘定		
当期首残高	△777,921	△733,904
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	44,016	△90,799
当期変動額合計	44,016	△90,799
当期末残高	△733,904	△824,704
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△678,492	△664,497
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	13,994	△67,936
当期変動額合計	13,994	△67,936
当期末残高	△664,497	△732,434
少数株主持分		
当期首残高	162,384	169,272
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	6,887	△5,121
当期変動額合計	6,887	△5,121
当期末残高	169,272	164,151
純資産合計		
当期首残高	2,620,127	2,680,976
当期変動額		
剰余金の配当	△108,822	△108,776
当期純利益	149,812	78,103
自己株式の取得	△1,023	△208
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	20,882	△73,058
当期変動額合計	60,848	△103,939
当期末残高	2,680,976	2,577,036

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	272,682	△10,608
減価償却費	191,718	189,096
のれん償却額	24,784	19,918
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9,429	9,923
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,452	△307
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,416	△18,094
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11,830	4,020
受取利息及び受取配当金	△10,426	△11,983
支払利息	36,542	13,697
為替差損益(△は益)	27,953	15,233
有形固定資産除売却損益(△は益)	4,356	1,647
投資有価証券評価損益(△は益)	—	38,245
売上債権の増減額(△は増加)	189,503	△24,088
たな卸資産の増減額(△は増加)	50,574	△36,220
仕入債務の増減額(△は減少)	119,358	138,132
その他	△597	49,856
小計	918,721	378,467
利息及び配当金の受取額	10,426	11,473
利息の支払額	△32,263	△12,282
法人税等の支払額	△192,395	△65,012
特別退職金の支払額	—	△30,345
営業活動によるキャッシュ・フロー	704,488	282,301
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△44,822	△68,334
有形固定資産の売却による収入	137	185
投資有価証券の取得による支出	△375	△1,015
無形固定資産の取得による支出	△436	△79
貸付金の回収による収入	430	360
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,066	△68,884
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△350,992	864,780
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△977,800	△635,200
自己株式の取得による支出	△1,023	△208
配当金の支払額	△109,056	△108,967
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,138,872	120,403
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,473	△20,756
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△486,923	313,064
現金及び現金同等物の期首残高	983,092	496,169
現金及び現金同等物の期末残高	496,169	809,233

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当連結会計年度の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(7)連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、各セグメントへの経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「ヘルスケア事業」と「プラスチック製品事業」の2つを基本に事業を営んでおり、事業部単位で包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは「ヘルスケア事業」及び「プラスチック製品事業」の2つを報告セグメントとしております。

「ヘルスケア事業」は、コンドーム、医療用ゴム製品及び生活自具等を製造・販売しております。「プラスチック製品事業」は、食品用包装フィルム及び事務用ファイル等を製造・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、前連結会計年度の有価証券報告書の「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」に記載のとおりであります。

なお、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	ヘルスケア 事業	プラスチ ック製品 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	2,726,850	1,323,695	4,050,545	293,299	4,343,845	—	4,343,845
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,726,850	1,323,695	4,050,545	293,299	4,343,845	—	4,343,845
セグメント利益 又は損失(△)	576,892	83,746	660,639	△6,387	654,251	△279,577	374,674
セグメント資産	3,973,724	988,061	4,961,786	64,322	5,026,108	754,953	5,781,062
その他の項目							
減価償却費	168,342	13,530	181,872	2,168	184,040	7,677	191,718
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	31,201	13,341	44,543	1,806	46,349	13,606	59,956

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、巡回入浴等のサービスや日用雑貨品等を製造・販売しております。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去と各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門に係る費用であります。

セグメント資産の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

3 セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	ヘルスケア 事業	プラスチ ック製品 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	2,282,026	1,281,253	3,563,279	263,829	3,827,109	—	3,827,109
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,282,026	1,281,253	3,563,279	263,829	3,827,109	—	3,827,109
セグメント利益 又は損失(△)	321,871	36,226	358,098	△13,107	344,990	△277,725	67,265
セグメント資産	4,079,523	997,935	5,077,459	63,560	5,141,019	829,262	5,970,281
その他の項目							
減価償却費	162,671	15,618	178,290	1,897	180,187	8,908	189,096
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	24,887	8,271	33,158	1,003	34,162	9,774	43,937

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、巡回入浴等のサービスや日用雑貨品等を製造・販売しております。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去と各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門に係る費用であります。

セグメント資産の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）及び管理部門に係る資産等であります。

3 セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	
1株当たり純資産額	230.91円	1株当たり純資産額	221.84円
1株当たり当期純利益	13.77円	1株当たり当期純利益	7.18円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 算定上の基礎

1 1株当たり純資産額

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当連結会計年度 (平成24年3月31日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額 (千円)	2,680,976	2,577,036
普通株式に係る純資産額(千円)	2,511,703	2,412,885
差額の主な内訳(千円)		
少数株主持分	169,272	164,151
普通株式の発行済株式数(千株)	10,937	10,937
普通株式の自己株式数(千株)	59	60
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(千株)	10,877	10,876

2 1株当たり当期純利益

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
当期純利益(千円)	149,812	78,103
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	149,812	78,103
期中平均株式数(千株)	10,879	10,877

(重要な後発事象)

当連結会計年度(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

該当事項はありません。

(開示の省略)

リース取引、関連当事者との取引等、税効果会計、金融商品、有価証券、デリバティブ取引、退職給付、ストック・オプション等、企業結合等、賃貸等不動産に関する注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略します。

4. その他

役員の変動

①代表者の変動

該当事項はありません。

②その他の役員の変動（平成24年6月27日付予定）

新任取締役候補

取締役 原 信司（現 当社ヘルスケア事業部ヘルスケア営業部部長）

取締役 蓼沼茂夫（現 当社ヘルスケア事業部ヘルスケア製造部部長）